幸手市立権現堂川小学校　学校だより１２月特別号　令和５年１２月２２日（金）

みちしるべ　NO. １０

学校教育目標「自分から行動できる子　・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」

学びあい　支えあい　高めあい　笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して

充実を実感した２学期 ～いざ！新たな年へ～　校長　大八木　健夫

令和５年度も２学期が終了します。お陰様で大きな事故もなく、充実した学校生活を送ることができました。これも、保護者・地域の皆様の御理解と御支援の賜物でございます。ありがとうございました。子どもたちは、明日から短くて、忙しい冬休みを迎えます。家族の一員としての役割を果たしながら有意義に過ごすことや、学習と生活習慣の継続を図ること、希望をもって新年を迎えることをとおして、子どもたちは成長していきます。２学期を振り返ると、

１年生は、時間を意識して生活できるようになってきました。教室移動のときは、活動開始５分前には整列して動けるようになりました。学級の一員として、当番活動に責任をもって取り組めるようにもなってきました。

２年生は、１年生とともに活動する場面の多かった２学期です。１年生をリードしながら仲良く活動することができました。かけ算九九にも意欲的に取り組んでいます。

３年生は、何事に対しても自ら活躍しようとする意欲が強く現れる一方、相手の気持ちを考え、譲り合いながら活動できる場面も多く見られるようになりました。

４年生は、友だちに対して寛容な気持ちで接することができるようになってきました。相手の気持ちを考えた言動を心がけ、クラスのみんなが仲良く生活できるようになりました。

５年生は、全校の先頭に立って、諸行事等の運営に係わり、「次の権小のリーダーは私たち」という自覚が現れています。

６年生は、権小の最高学年としての自覚を深め、いつも下級生の先頭に立って行動しようとする姿が見られました。

２学期の教育活動でも、保護者や地域の皆様に御来校いただき、様々な活動をとおして、児童と触れ合う機会もさらに多く、児童が大きく成長したことを実感することができました。私たち教職員は、来年も子どもを認め、励まし、温かく見守り、時には厳しく教え、鍛えることで、子どもの成長のために全力を尽くします。令和６年も引き続き、保護者や地域の皆様の御理解と御支援をお願いいたします。御家族で温かい年末・年始を過ごし、よいお年をお迎えください。